



地下鉄7号線

回覧



さいたま市地下鉄7号線 延伸認可申請事業化 実現期成会

2024.8 vol.23

延伸 ニュース

第23号



地下鉄7号線延伸の直近の動向と取組み状況

地下鉄7号線延伸事業は、令和6年1月24日(水)にさいたま市より令和5年度中の鉄道事業者への事業実施要請を見送る方針が出され、今後は、早期の事業着手に向けた課題解決のための新たな取組のもと、延伸計画の精査・深度化が進められることとなりました。

そこで、地下鉄7号線延伸の直近の動向と取組状況について確認してみたいと思います。

※記事の内容は、令和6年6月20日時点の内容となります。予めご了承下さい。

検討手順の変更

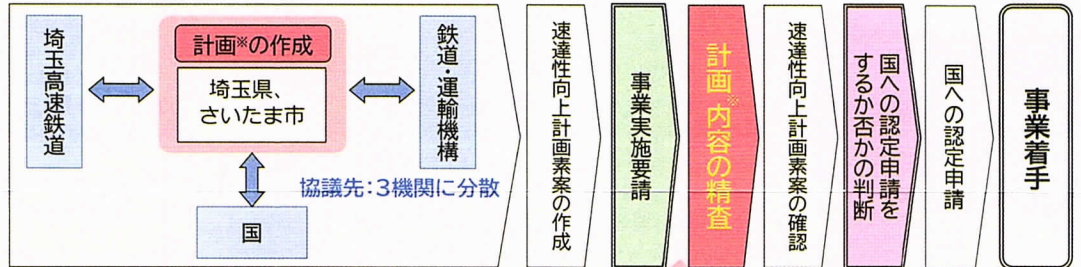
社会情勢が著しく変化中、課題を解決し早期の事業着手を可能とするため、これまでは鉄道事業者への事業実施要請後に計画内容の精査を行っていた検討手順を変更。「計画内容の精査」を前倒しするとともに、鉄道事業者しか有しえない最新かつ専門的な情報や知見を活用し、関係機関との協議をより効率的に実施することとなりました。

さいたま市からは、1月下旬に(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構、埼玉高速鉄道(株)に対して技術支援要請がなされ、4月には業務委託契約が締結されました。

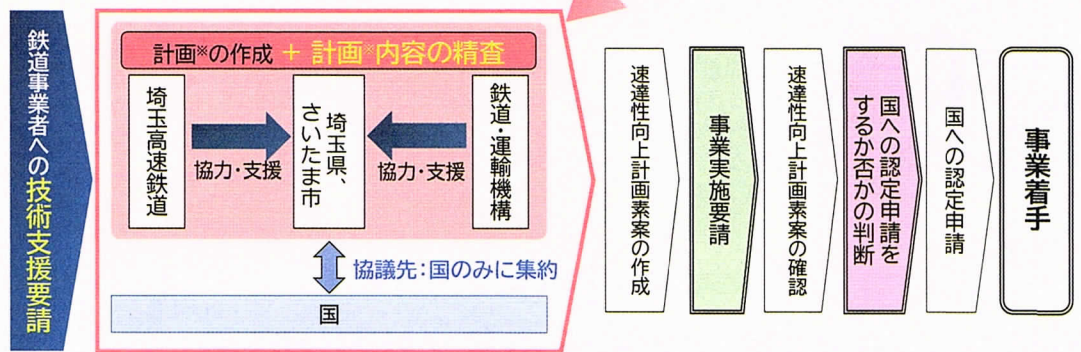
出典: 令和6年1月24日(水)開催
さいたま市地下鉄7号線延伸事業
特別委員会資料

検討手順の変更内容

○これまでの検討手順 (※ 計画: 整備計画、収支計画、運行計画等)



○来年度以降の新たな検討手順



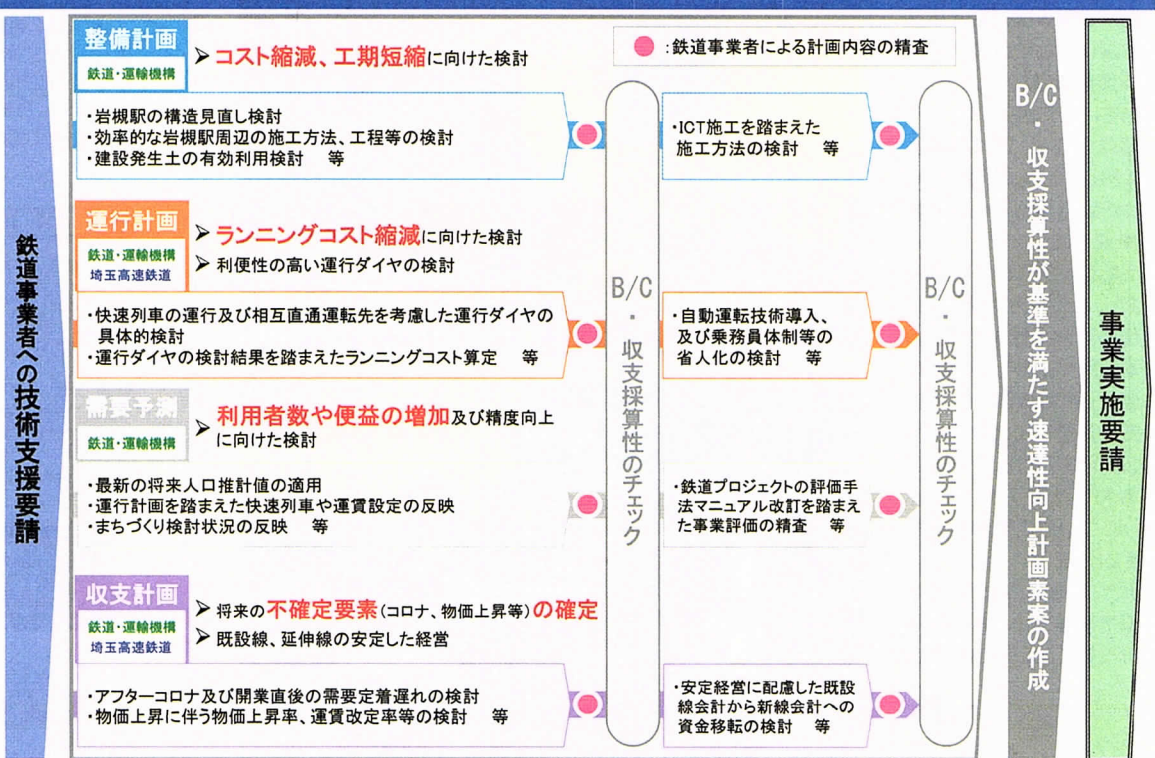
地下鉄7号線延伸事業の今後

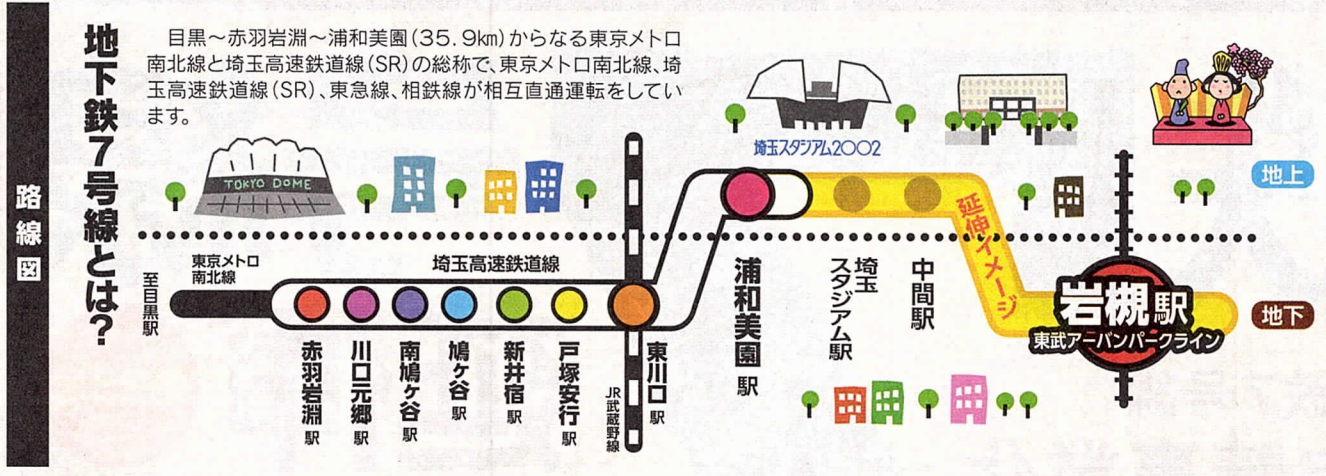
今後の地下鉄7号線延伸事業については、(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構、埼玉高速鉄道(株)、埼玉県、さいたま市で構成される「地下鉄7号線(埼玉高速鉄道線)延伸連絡調整会議」が設置され、地下鉄7号線(埼玉高速鉄道線)延伸の整備計画、収支計画、運行計画等の深度化に向けた検討状況の報告、調整及び情報交換が行われます。

以上、現時点の状況についてご報告をいたしました。今後も地下鉄7号線の延伸実現に向けた協議の進捗状況を見据え、皆様と情報を共有しながら期成会も活動をしてまいります。

出典: 令和6年3月7日(木)開催
さいたま市地下鉄7号線延伸事業
特別委員会資料

地下鉄7号線延伸事業及び中間駅周辺まちづくり事業の今後の進め方について【鉄道延伸】





詳細・お問合せは下記まで

期成会事務局
 さいたま商工会議所 まちづくり支援課
 〒330-9626
 さいたま市大宮区桜木町1-7-5 ソニックシティビル8階
 TEL:048-641-0084 FAX:048-643-2720

さいたま市地下鉄7号線延伸認可申請事業化実現期成会

「オールさいたま」で応援する組織です。主に自治会、経済界、沿線大学、スポーツ界等の幅広いメンバーで構成されています。

一期成会とは
 「地下鉄7号線の延伸」を「オールさいたま」で応援する組織です。主に自治会、経済界、沿線大学、スポーツ界等の幅広いメンバーで構成されています。

一期成会が行うこと
 1. 調査・検討事業を行ない、
 2. 埼玉高速鉄道 (SR) の利用促進に向けた事業を行います。
 3. 講演会やイベントなどで、延伸実現に向けたPR活動を行います。

一期成会に参加するには、趣旨に賛同される方であれば個人・企業問わず、どなたでもご加入頂けます。会費は、個人の方は年千円から、企業の方は年一万円からとなります。また、ご加入をいただいた個人の方のご家族、企業等の従業者の方は、賛助会員としてご加入 (会費無料) できます。詳細につきましては、期成会事務局のさいたま商工会議所にご連絡ください。

地下鉄7号線延伸地域「散策マップ」

地下7期成会では、浦和美園駅～岩槻駅間の地下鉄7号線延伸実現に向けての啓発活動の一環として、延伸線地域の自然や歴史等の魅力、期成会オリジナル情報を掲載した散策マップを作成しています。

本オリジナルマップは、延伸地域の魅力PRや円滑なコミュニケーションを図ることを目的に、ピクトグラム (絵文字) 入りで、日本語と英語を併記し、かつて浦和美園駅～岩槻駅地域を運行していた旧武州鉄道の痕跡を辿りながら、見沼田んぼと元荒川の自然あふれる水辺と歴史を満喫頂けるコースをご紹介します。(ご希望の方は、期成会事務局にご連絡ください)

鉄道今昔物語 第21話

東京をはじめ、大都市といわれる街を歩いていると、地下への入り口が多数ある。大きな交差点付近に設置された横断地下道の入り口、地下の駐車場や駐輪場に入るための入り口。地下街と称する商業施設へ、アプローチするための入り口。

これらは、独立して歩道上に鎮座するものもあれば、ビルの一隅を間借りして、口を開けている入り口もあり、その様式は一定ではない。大概、それらには〇〇駐車場入り口とか、〇〇交差点・横断地下道などと、遠慮深げに小さな案内がされている。

SR線は地下鉄である。一部高架線もあるが、東京メトロに乗り入れている立派な地下鉄だ。当然、多くの駅は地下にある。地上を走る鉄道であれば、その街のランドマークともいえる駅舎が、堂々と構えていることが一般的だ。

勿論、東京駅のような巨大な駅舎もあれば、2両の電車がトコトコ走る田舎の無人駅のような小さな駅もある。それらは、行き交う者にとっては、一つの目録物になり得るものであるし、鉄道を利用する者も、駅舎を目指して集うわけである。

前置きが長くなってしまったが、私は仕事柄、多くの街を訪れてきた。その中には、地下鉄や地下鉄に準じるような鉄道が走る街も当然多くある。それらの多くの駅で乗降してきて思うこと...

それは、SR線の駅ほど、良い意味で自己主張している駅は中々ないということ。冒頭に「遠慮深げに小さな案内が」と書いたが、SR線は真逆の位置にいる。街を歩く人、行き交う自動車などに、「ココに居るぞ!!」と強く訴えているようだ。これは、非常に良いことである。

街の風景に埋もれてしまっている地下鉄の駅が多い中、きちんとランドマークとして、万人に分かりやすく鎮座しているのだから。老若男女、利用者からは見つけ易いし、クルマからも、走行場所を把握し易い。

正に、地下駅の理想的なランドマークの形である。特に川口元郷・新井宿・戸塚安行の各駅は自己主張が強く、勇ましいほどである。

他の駅も、地下鉄としてはハッキリした表示が成されている。特に、川口元郷や鳩ヶ谷のように、入り口の周囲をステーションカラーでラッピングすれば、もっと判り易いだろうし、「どこでもドア」のようで夢があるように思えてならない。

戸塚安行駅

川口元郷駅

著者紹介

鉄道ジャーナリスト
 フタナベ シエ
渡部 史絵氏

2006年から活動。月刊誌『鉄道ファン』や『東洋経済オンライン』の毎月連載をはじめ、書籍や新聞・テレビやラジオ等で鉄道の有用性や魅力を発信中。著書は21作を数え、『路面電車の魅力大研究』(イカロス出版)『地下鉄の魅力大研究』『鉄道なんでも日本初!!』(天夢人)『鉄道写真 ここで撮ってもいいですか』(オーム社)『超! 探求読本 誰も書かなかった東武鉄道』(河出書房新社)『地下鉄の駅はものすごい』(平凡社)『電車の進歩細見』(交通新聞社)『譲渡された鉄道車両』(東京堂出版)ほか、多数ある。国土交通省・行政や大学、鉄道事業者にて講演活動等も多く行う。

●Yahoo! ニュース公式 エキスパート
<https://news.yahoo.co.jp/profile/commentator/watanabe-shie>

●公式ツイッター
<http://twitter.com/shierail>

●公式ブログ
<http://ameblo.jp/shie-rail/>
 渡部 史絵 | 著者ページ | 東洋経済オンライン | 社会をよくする経済ニュース (toyokeizai.net)

役員会(3/4(月)開催)にて清水市長より現状報告

去る3月4日(月)開催の当期成会役員会に清水市長にお越しいただき、地下鉄7号線延伸の現状についてご報告をいただきました。

報告の冒頭、清水市長より令和5年度末を目標としていた鉄道事業者への事業実施要請を見送ることとなったことについての陳謝があり、その後地下鉄7号線延伸の現状と課題、早期の事業着手に向けた検討手順の変更、鉄道事業者への技術支援要請などの新たな取組、地下鉄7号線延伸関連の令和6年度の当初予算(案)についてご説明をいただきました。

また、ご報告の後は、市未来都市推進部とともに質疑応答にもご対応をいただきました。

説明をする清水市長

役員会の様子

地下鉄7号線延伸事業PR動画「未来へつなごうわたしたちのまち」を公開中

地下鉄7号線延伸事業を広くさいたま市民にPRし、延伸実現に向け「オールさいたま」での更なる気運醸成を目的に作成しました。本動画の撮影にはドローンを使用し、日常とは違う角度から、延伸予定地域を見ることが出来ます。

動画公開情報

本動画のロングバージョン(約7分)をYouTube(さいたま商工会議所チャンネル)にてご覧いただけます。

動画 URL はこちら (外部サイト YouTube にリンクします)
<https://youtu.be/lue-lbbCJJl>

地下鉄7号線誘致期成同盟会 発足

現 地下鉄7号線建設誘致期成同盟会

1969年 1998年